



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 神野 晴年

(氏名) 池田 達彦

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,848	△0.2	216	96.0	206	80.3	136	224.3
28年3月期第2四半期	6,859	7.0	110	—	114	—	42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	29.08	—
28年3月期第2四半期	8.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	8,247	5,372	65.1	1,142.35
28年3月期	8,765	5,334	60.9	1,134.36

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 5,372百万円 28年3月期 5,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	1.9	430	22.9	430	23.4	200	53.0	42.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,703,063 株	28年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	484 株	28年3月期	484 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,702,579 株	28年3月期2Q	4,702,598 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の国内景気は、企業収益や雇用環境の改善等を背景として、緩やかな回復基調を呈しておりますが総じて力強さを欠き、また中国をはじめとするアジア新興国等の景気の減速懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。小売業界につきましては、衣料品の低迷やインバウンド需要の減速などにより、概して厳しい環境が続いております。消費者マインドの低迷に加え、夏場の天候不順が消費下押しに作用するなど、足元では弱さが見られました。

(直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ直営店販売事業につきましては、“ミルキュアピュア”及び“リファイニングホワイト”の両スキンケアラインを主軸としたコンサルティング販売の強化に取り組み、当期の課題の一つである「1店舗当たりの収益力強化」を推進しました。また人気のボディケア商品では、新客増加を目的とした広告宣伝をはじめとする各種施策も実施しました。一方、前期に引き続き不採算店舗の退店を行いつつ販売スタッフ数の適正化と利益基盤の強化を進めてまいりました。その結果、第2四半期末時点の店舗数は前年同期より8店舗減少しましたが、客単価及びスタッフ一人当たりの売上が向上したことで、売上高は前年同期比0.4%の微増となりました。特に既存店比較では前年同期比2.5%の増加、専門店店舗では既存店ベースで4.9%の伸びとなりました。

ネット通販事業は、自社ネット通販を中心に順調に推移し、売上高は前年同期比で43.8%の増加となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、期初に不採算事業から撤退したものの54億7百万円(前年同期比0.7%減)を確保し、営業利益は1億16百万円(前年同期は営業損失20百万円)と黒字に転じ、大きく収益を改善することができました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、サロンスタッフの定着率向上及びマネジメント力の強化に注力しつつ、新客様限定メニューの導入やハウス オブ ローゼボディケア商品を使用し差別化を図るなど顧客拡大に努めましたが、客数の減少が影響し売上高は前年同期比7.3%の減少となりました。一方カーブス事業は、既存会員様の紹介などによる会員獲得が定着し、会員数が前年同期より100名強増加するなど着実に業績を伸ばし、売上高前年同期比2.9%の増加となりました。

以上の結果、当事業売上高は8億27百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益につきましては、リラクゼーションサロン事業におけるオーガニックアロマを取り入れた新業態サロンの新設に伴う初期投資の影響もあり、77百万円(同30.2%減)となりました。

(卸売販売事業)

個人オーナー向け卸売部門は、既存店の改装が奏功して売上増加した反面、店舗数の減少や熊本地震で被災した店舗の休業が響き、売上高は前年同期比3.8%の減少となりました。一方、量販店向け卸売部門は、ボディケア化粧品を中心とした新MD「リラックスタイム」の展開が順調に拡大し、売上高は前年同期比11.6%の増加となりました。また、その他一般向け卸売につきましては、通販事業者向け売上が引き続き好調で、売上高は前年同期比31.3%の増加となりました。

以上の結果、当事業売上高は6億13百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は22百万円(同17.1%増)と増加しました。

以上、当第2四半期における全社売上高は68億48百万円(前年同期比0.2%減)となりました。一方、費用面では主力のハウス オブ ローゼ直営店売上の増加及び原価率の高い不採算事業からの撤退等により売上原価率が前年同期比で0.3ポイント低下しました。また直営店舗数減に伴うスタッフ数の減少により人件費が削減、その他諸経費の削減効果等も寄与し、総経費は前年同期比で2.0%減少しました。その結果、営業利益は2億16百万円(前年同期は営業利益1億10百万円)と前年同期からほぼ倍増、第2四半期純利益は1億36百万円(同42百万円)と、同3倍強を確保することができ、消費増税による落ち込みからほぼ回復いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より5億18百万円減少し、82億47百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より7億50百万円減少し、45億27百万円となりました。これは主に現金及び預金が6億72百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より2億31百万円増加し、37億19百万円となりました。これは主に投資有価証券が2億96百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より5億55百万円減少し、28億75百万円となりました。これは主に電子記録債務が3億90百万円、未払法人税等が89百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より37百万円増加し、53億72百万円となりました。これは主に利益剰余金が42百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成28年8月3日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,518,966	1,846,914
売掛金	958,275	943,501
商品及び製品	1,641,887	1,543,786
その他	158,534	193,430
流動資産合計	5,277,664	4,527,632
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	391,776	384,283
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産（純額）	53,985	42,236
有形固定資産合計	1,861,667	1,842,425
無形固定資産	71,805	42,633
投資その他の資産		
差入保証金	693,617	637,951
その他	862,434	1,197,730
貸倒引当金	△1,242	△742
投資その他の資産合計	1,554,809	1,834,939
固定資産合計	3,488,283	3,719,997
資産合計	8,765,947	8,247,630
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,485	374,482
電子記録債務	906,466	516,167
未払法人税等	221,508	132,362
賞与引当金	191,095	198,646
その他	582,948	528,779
流動負債合計	2,328,504	1,750,438
固定負債		
退職給付引当金	963,194	1,016,871
役員退職慰労引当金	62,744	55,744
その他	77,082	52,570
固定負債合計	1,103,021	1,125,185
負債合計	3,431,525	2,875,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,072,112	4,114,790
自己株式	△480	△480
株主資本合計	6,288,536	6,331,214
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,002	36,907
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△954,114	△959,208
純資産合計	5,334,421	5,372,005
負債純資産合計	8,765,947	8,247,630

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,859,672	6,848,355
売上原価	1,925,821	1,902,393
売上総利益	4,933,851	4,945,961
販売費及び一般管理費	4,823,216	4,729,149
営業利益	110,634	216,811
営業外収益		
受取利息	1,568	1,458
受取配当金	1,652	1,749
不動産賃貸料	933	388
その他	3,642	1,995
営業外収益合計	7,796	5,593
営業外費用		
支払利息	1,006	813
リース解約損	2,487	14,669
不動産賃貸原価	442	476
営業外費用合計	3,935	15,959
経常利益	114,495	206,445
税引前四半期純利益	114,495	206,445
法人税、住民税及び事業税	72,312	100,773
法人税等調整額	26	△31,057
法人税等合計	72,339	69,715
四半期純利益	42,155	136,730

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。